

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年7月16日(木)

### 《疲れた者は休ませてあげよう》

こんばんは。

皆様が疲れた時に何をなさるのでしょうか。体が疲れている場合もあるでしょうし、心が疲れている場合もありますね。その時、何をしようと思えますか。色々あります。お風呂に入っただのビール1本は最高ですね。ゆっくり寝たり、音楽を聴いたり、パソコンをしたり...。私はだいたい寝ます。ある人は悩みがあるとなかなか眠れないと言いますが、私は悩みがあったら直ぐに寝ます。そして起きたら忘れていて。とにかく色々な形で、疲れた時に自分に一番合う方法は皆解っています。しかし、その方法は解っても、取り除く事の出来ない状況も結構あります。例えば、肉体労働をする人は、あまりに疲れて何も出来ず、ジョッキ1杯で体を休めようと思えますが、それは休めるのではなく、忘れようとする事だと思えます。

とにかく色々な方法があります。もし自分に合う方法が解っているのなら、その方法で休み、楽しんで下さい。休む事は必要です。寝る事も、音楽を聴く事も、パソコンをする事も、自分にとって許されている条件であればなさせて下さい。

しかし、絶対忘れてはならない事は、パソコンをしてもイエス様の事を思い出して下さい。寝る時にも、音楽を聴く時にも思い出して下さい。それが私達が一番短的にやすらぎを得る方法だという事を忘れないで下さい。そうすれば、自分でも知らないうちに、自分を取り戻し、元気を回復出来ると思えます。

今日の福音(マタイ11・28-30)を読みますと、ちょっと気に掛かる事があります。『疲れている者は、誰でも私のもとに来なさい』とおっしゃりながら、私達の心情としては納得出来ないところがあります。『重荷を負う者は誰でも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。私は柔和で謙遜なものだから』、そして『私のくびきを負い、私に倣いなさい。そうすれば、あなた方はやすらぎを得られるだろう。私のくびきは負いやすく、私の荷は軽いからである』と続きます。休ませてくれるつもりなら、『私のくびきを負いやすい』と言いながらも、何故それを負って欲しいとおっしゃるのでしょうか。

私達の認識では、休もうとすれば、重荷を取り除き、そっと休ませてあげるのが正しいように思えます。しかし、イエス様は“自分のくびきを負って休んで下さい”と話されました。イエス様は現実的な感覚が優れた方だと思えます。“あなたの疲れを今私が取ってあげても、この世の中では、重荷を負う疲れは人生が終わるまで繰り返されるのだから、仕方なしに負う重荷なら、くびきなら、自分のくびきを負って私に従ってついて来なさい”と、おっしゃったのです。

イエス様のくびきとは何でしょうか。イエス様にまじめに従おうとすれば肩が重くなります。しかしその重くなった肩は、それは重荷ではなく、くびきではなく、やすらぎを得られる唯一の方法です。

人はやはり疲れます。しかしその疲れを疲れで終わるのではなく、もっと主に近づける道として私達が受け入れれば、私が負うこのくびきによって、喜びを感じられる事になると思えます。本当に必要な時に休んで下さい。人生を楽しんで下さい。イエス様も皆様が楽しみながら信仰生活をおくられる事を望んでおられると思えます。

ありがとうございました。